



為桜オリンピック閉幕

10月1日（木）

為桜オリンピック最終日は2年生の日です。昨日までと異なり朝は肌寒く、小雨がぱらついていました。天気予報でも雨となっていました。しかし、競技が進み生徒達の活気に押されたかのように日差しが戻り無事競技は終了しました。3日間とも生徒達の屈託のない笑顔と歓声がグラウンドや体育館に溢れていました。皆さん本当にお疲れ様でした。

今日の最終種目であるクラス対抗リレーについて、思ったことを少し書きたいと思います。7クラスの第一走者がピストルの音をあとに第一コーナーに飛び込むとあるクラスの選手が接触の勢いでバトンを落としてしまい最下位となりました。レースは進み何とか挽回しようとする選手たちも全力で追いますが差は縮まりません。さらにそのチームは、もう一度不運に見舞われます。バトンの引継ぎ直前に転倒者が出たのです。それでもクラス全員が声援を切らすことなく最後まで走り切りました。順位は最下位のままでした。レース後も皆で健闘を称えあっている姿は1位となったクラスにも引けを取っていませんでした。

そうです。最後まで走り切ったから7位になれたのです。途中でレースをやめてしまえば順位すらつきません。また、気の抜けた走り方をすれば、本人たちだけでなく周囲も白けていたことでしょう。どんな結果が出ようと走り切ることに、やり切ることが大切だということを改めて気づかされた場面でした。

